

旭小学校

かわら版

学校通信

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



令和2年12月18日号

縄跳びに挑戦

12月から朝の体育行事で学級ごとに長縄跳びに挑戦しています。決められた時間内で数多く飛べることを目指します。朝行事だけでなく、休み時間に練習をしている人もいます。

寒さに負けずに挑戦してください。



健康は良い姿勢から

10日に感染対策のため人数を絞って学校保健員会が行われました。保健委員のみなさんに良い姿勢についての研究発表をしてもらいました。良い姿勢が健康につながるということや良い姿勢を作るタオルを使ったストレッチも紹介されました。その後校医さんから講評をしていただきました。

保健集会ができないため、お昼の放送を使って発表してもらいました。また、研究内容を玄関に掲示してあるので、よく見て良い姿勢を心がけましょう。



人権教育への取り組み

11月25日～12月9日

前回もお伝えしたように本校では〈人権教育期間〉として差別をせず仲良く生活するためにどうしたらよいかを集中的に考える取り組みを行っています。各学級で人権に関する学習を行い人権に関する作文や人権標語を各自で作成してまとめをしました。

例年は全校で人権集会を行い、学年代表に人権作文を発表してもらっていますが、感染予防のため集会が行えません。そこで、お昼の放送で学校代表の標語を発表してもらいました。各学級代表の人権標語などは職員室前の廊下に掲示してあります。

十人十色
自分の色で
輝こう
（六年生代表）
いろいろな色が集まって
色とりどりの
肌輪ができる
（五年生代表）



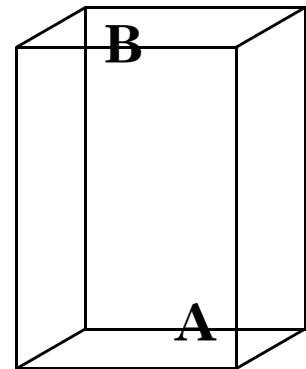
ぜひ、ご家庭でも冬休みに「人を大切にする」ということについて話題にして下さい。優しさあふれる、いじめのない旭小になるようこれからも様々な取り組みを行っていきます。

感染症から生まれる差別・偏見をどうなくしていくか

【質問】 右の図を見てください。

「箱」に見える人が多いでしょう。

では、あなたはAとBどちらの面が手前に見えますか？
よ～く見てください。



Aが手前に見えると、Bは後ろにいてしまいます。反対にBが前に見るとAは後ろにいてしまいます。AもBもいっしょに前に見えるということはありません。

では、本当はAが前なのでしょうか、Bが前なのでしょうか。

どちらが正しいということはありません。どちらとも正しいといえます。つまり、

「そう思ってみれば、そのように見える」ということです。

ですから、「こうに違いない」と思ったことでも違った方向から考えると全く違った結果にもなります。自分の考えだけが正しいと思い込んでしまうと知らず知らずのうちに間違ったことをしてしまうかも知れません。

ここで「新型コロナウイルス～差別・偏見をなくそうプロジェクト」という動画を見てみましょう。（ネットで視聴できます→）



新型コロナウイルスに感染するのは、誰だって嫌です。だからといって、感染した人やその家族を非難するなどの差別して解決するのでしょうか。

このウイルスは3つの感染を生むと言われています。まず〈病気〉という感染が〈不安〉を生み、不安な気持ちが〈差別〉を生みます。そして差別から病気を隠したくなり一層感染を広めてしまうという悪循環に陥ります。「感染したくない」という気持ちにとらわれると冷静な見方ができなくなります。正しい情報を知って正しく恐れることが大切です。感染症だけでなく、差別はこのような不安や誤った情報による「思い込み」が生み出すことが多いです。

「自分は正しい」と周りの人を非難しそうになったときには、「違った見方もあるかも知れない」とこの箱を思い出してください。

様々な立場の人を受け入れて温かな社会を作っていきましょう。

